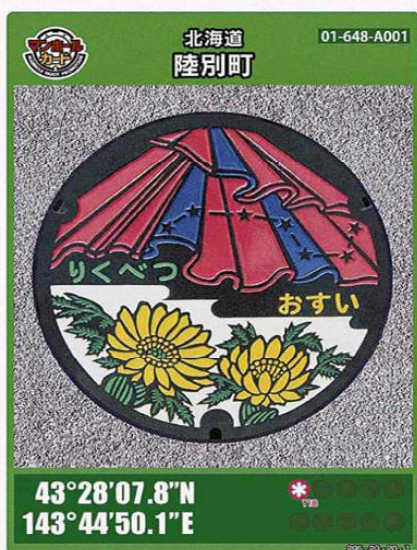




年 組 名前

道新 ワークシート

マンホールカードで陸別PR



- ㊤28日から配布される陸別のマンホールカードの表面
- ㊦カードの裏面

デザインの由来

設置開始 1995年

低緯度オーロラ
フクジュソウ

「日本一のしばれ」のまち、陸別町。しばれは北海道弁で寒い寒さを意味します。本図柄に描かれているのは、低緯度オーロラと町花のフクジュソウ(福寿草)です。オーロラは北緯など高緯度で見られる緑や白色のものが有名ですが、日本のように低緯度で現れる場合は赤く見えます。本町で初めて低緯度オーロラの撮影に成功したのは1989年のこと。以来、「オーロラの見える町」としても知られるようになりました。フクジュソウの花言葉は幸福と長寿。幸せを招く使者として春の訪れを飾ってくれます。このように自然豊かな本町をイメージしたカラー蓋は、通称ラコム通りの歩道に設置されています。

1804-00-001
陸別町役場

©GKPマエプロ

【陸別】町は、町内にあるマンホールのふたの図柄を紹介する「マンホールカード」を製作した。同カードは全国の自治体が発行しており、十勝管内では初めて。現地でしか入手できない希少さが受け、「マンホール」と呼ばれる愛好家が生まれるなど全国的に人気が高まっている。町は「観光客を呼びよせかけになれば」と期待する。

カードの表面には、町内で1989年に撮影された低緯度オーロラ(東京)が、各自治体の協

ローラや、町の花のフクジュソウをデザインした直径60センチのふたのカラー写真、裏面にはデザイン由来が記されている。この図柄は95年に採用し、町内約440カ所に設置されている。

カード表面の左下には撮影場所の緯度と経度を載せているため、現地で現物を確認する楽しみもあるという。

カードは下水道関連団体でつくる「下水道広報プラットフォーム」(東京)が、各自治体の協

管内初・町が製作

観光客呼びよせかけに

力を得て2016年4月から4カ月ごとに発行。縦8・8センチ、横6・3センチの統一規格となっている。これまでに札幌や函館、北見など道内18市町を含む全国252自治体が発行。第7弾の今回は全国49自治体が対象となり、道内からは釧路市も参加する。

町は4千枚を製作し、配布は1人1枚。28日から町役場で受け取ることができる。町建設課は「下水道を身近に感じてもらうながら陸別の魅力も伝えたい」と話している。問い合わせは、**共同課下水道担当 ☎0156・27・2141**へ。

(斉藤和浩)

2018年4月7日朝刊帯広・十勝版

①カード表面の左下に記載されている文字は、何を表しているでしょう。

- ・上段 ()
- ・下段 ()

②あなたのまちのマンホールをデザインするとしたら、どのような図柄にしますか。絵や言葉で書きましょう。